

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

| | |
|-------|-------------|
| 作成年月日 | 平成21年12月9日 |
| 作成部署 | 建設交通部 道路管理課 |

| | | | |
|----------|---|------|---------------|
| 事業名 | 南山城村道 大河原東和束線 地方道路交付金（府代行）事業 | 地区名 | 南山城村北大河原地内 |
| 概算事業費 | 約2.7億円 | 事業期間 | 平成17年度～平成25年度 |
| 事業概要 | L=200m W=5.0m | | |
| 目指すべき環境像 | 施工予定地周辺は、緑に囲まれた山村地域であり、豊かな自然環境と景観を有しており、事業に際してそれらへの影響に配慮して進める必要がある。 | | |
| 関連する公共事業 | 北大河原バイパス事業 | | |

| 評価項目 | | 施工地の環境特性と目標 | 環境配慮・環境創造のための措置内容 | 環境評価 | |
|-----------|-----------------------------|---|---|------|---|
| 主要な評価の視点 | 選定要否 | | | | |
| 地球環境・自然環境 | 地球温暖化(CO ₂ 排出量等) | 建設予定地周辺は、豊かな自然が残る地域であり、大規模な土地の改変を極力抑制し、地球環境の消失や負荷を避ける必要がある。 | 切土が少なくなるようルート検討を行い、地形改変などによる自然環境への影響を抑える。 | 3 | |
| | 地形・地質 | | | | ○ |
| | 物質循環(土砂移動) | | | | |
| | 野生生物・絶滅危惧種 | | | | |
| | 生態系 | | | | |
| | その他 | | | | |
| 生活環境 | ユニバーサルデザイン | 大河原地区内の道路が狭小のため、車の離合時に停止・発進を繰り返しており、周辺への騒音・振動等生活環境に影響を及ぼしているため、これを低減する必要がある。 事業の実施により発生する建設残土の抑制を図るとともに資源の有効利用に努める必要がある。 | 北大河原バイパスと接続することで、交通の難所となっている北大河原の集落内から通過交通を排除し、現道沿いの人家の生活環境の改善を図る。 切土と盛土のバランスを考慮して残土の有効利用ができる道路計画を策定し、リサイクルに努める。 | 3 | |
| | 水環境・水循環 | | | | |
| | 大気環境 | | | | |
| | 土壌・地盤環境 | | | | |
| | 騒音・振動 | | | | ○ |
| | 廃棄物・リサイクル | | | | ○ |
| | 化学物質・粉じん等 | | | | |
| | 電磁波・電波・日照 | | | | |
| | その他 | | | | |
| 地域個性・文化環境 | 景観 | 建設予定地周辺は、山と川に挟まれた、自然豊かな地域であるため、土地の大幅な改変による景観への影響を極力避ける必要がある。 | 建設に伴う大規模な森林伐採と切土を避け、在来種による法面緑化に努めるなど、現状の自然景観を極力維持する。 | 3 | |
| | 里山の保全 | | | | |
| | 地域の文化資産 | | | | |
| | 伝統的行祭事 | | | | |
| | 地域住民との協働 | | | | |
| | その他 | | | | |